

## シンポジウム「外来種対策の具体例と対策の問題点」のご案内



特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）施行されてから、輸入リスクの検討や特定外来種指定等が進んでいますが、現場で何が進んでいるか、何を進めなくてはならないかをあらためて考えたいと思います。

このシンポジウムは平成17年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

### シンポジウムタイトル：「外来種対策の具体例と対策の問題点」

シンポジウム日時：2006年3月18日（土）13時～19時

場所：明治薬科大学剛堂会館：東京都千代田区紀尾井町3-27・TEL03-3234-7362

（<http://www.nijou.jp/page002.html>）

参加申し込み：必ずお申し込み下さい（[chipmunk@h5.dion.ne.jp](mailto:chipmunk@h5.dion.ne.jp)） 参加費不要

#### プログラム：総合司会 竹下信雄氏（生物多様性 JAPAN）

##### 第1部 基調講演

- 13:10 - 14:10 講演「ニュージーランドにおける外来植物対策について」  
加藤英寿氏（首都大学東京 牧野標本館）
- 14:10 - 15:10 講演「外来種対策モデル事業の目標と具体的内容」  
堀上勝氏（環境省自然環境局野生生物課）

##### 第2部 事例報告

- 15:20 - 15:50 講演「奄美大島のマングース対策と根絶への可能性」  
阿部慎太郎氏（環境省奄美野生生物保護センター）
- 15:50 - 16:20 講演「カミツキガメ対策と根絶への可能性」  
小林頼太氏（東京大学）
- 16:20 - 16:50 講演「オオヒキガエルモデル事業と根絶への可能性」  
戸田光彦氏（自然環境研究センター）
- 16:50 - 17:20 講演「外来魚バスターズ / 市民による琵琶湖の生物多様性奪還への戦い」 多田実氏・岩崎魚成氏（外来魚バスターズ）
- 17:30 - 18:45 パネルディスカッション「外来種問題解決の未来」

連絡先：生物多様性 JAPAN 事務局 担当 川道美枝子

メール：[chipmunk@h5.dion.ne.jp](mailto:chipmunk@h5.dion.ne.jp)

電話：090-6076-7655 [www.bdnj.org](http://www.bdnj.org)

## シンポジウム会場 明治薬科大学 剛堂会館



**BDNJ 生物多様性 JAPAN について** 生物多様性 JAPAN (Biodiversity Network Japan)は、リオデジャネイロで開催される地球サミットへ向け、生物多様性の概念の普及と生物多様性保全に寄与するため、1991年に結成された NGO です。IUCN の NGO メンバーとして国際的な情報発信も行っており、IUCN の副会長を務めた堂本暁子氏(現千葉県知事)も会員となっています。

生物多様性 JAPAN には、生物学の分野で大きな業績を上げてきた学者、新進気鋭の若手研究者、弁護士、環境や女性の分野の市民活動家やジャーナリストなど、実に多種多様な方々が参加しています。言ってみれば、社会の縦割りを超えて横断的に集う NGO です。生物多様性条約の採択、我が国の批准に向け、またその後のフォローアップのために、当該 NGO は数多くのシンポジウムや勉強会、内外への実地見学会等を企画し、政府の意思決定に少なからぬ影響を与えたと思われます。この数年は特に生物多様性と地球温暖化の関係、そして移入生物種問題に取り組んでいます。 代表 岩槻邦男

**事務局** 〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27 中央大学理工学部 地学生物学教室内 生物多様性 JAPAN  
事務局 事務局長 西田治文 **連絡先** 一般事務・外来種(移入種)担当 川道美枝子 [chipmunk@h5.dion.ne.jp](mailto:chipmunk@h5.dion.ne.jp)  
Tel : 075-551-3936

